

2025年

謹賀新年
庄内町長 富樫 透



明けましておめでとうございます。昨年は、元日に発生した能登半島地震、7月には庄内・最上地方での豪雨災害など自然災害の多い年でしたが、今年は巳年にあやかりおだやかな中にも再生・繁栄の実り多き年になればと思うところです。

災害は、いつどこで起こるかわかりません。非常持ち出し袋や避難所の確認など必要最低限の準備は、普段から心がけていただきたいと思います。町としても防災士ネットや自主防災組織の取り組みを充実させ、関係団体連携の

と安全・安心のまちづくりを進めていきます。

また、かめこめプロジェクトのブランド化戦略や保育園留学の関係人口拡大などによる活性化は、高規格道路の延伸や庄内空港の5便化などインフラ整備の進捗に合わせ、わが町の優位性を生かし魅力を高めていきます。

さらには「庄内町こども計画」策定にむけた切れ目のない子育て支援策の充実と教育環境の整備、健康寿命延伸を目指す「通いの場」の拡大やシニアわくわく応援チケットの拡充を進め、住みやすく、住み続けたい町に繋がります。

今年は、平成17年の合併から20年の節目の年となります。特色ある町内各地域の良さに磨きをかけ、地域資源を生かし持続可能で笑顔あふれる住みよいまちを目指し、各種施策を実施してまいります。是非、みなさんのご協力を本年もよろしく願っています。

庄内町の良さを伝えられる人になりたい

余目第一小学校

6年生41人が参加。自分たちが考える町の課題を掲げ、解決策について寸劇を交えながら発表してくれました。



●各班の意見

- 1班：人口を増やすには子育てサービスの充実を
- 2班：自然の豊かさを積極的にアピール。田んぼアート、ドロップスポーツ、白鳥見学ツアーなど
- 3班：町の魅力を活かした施設の整備。ドーム型グランピング施設、動物に触れ合える施設、お米について楽しく学べる施設など
- 4班：事件・事故のない町に。道路を広くする、歩きやすい歩道など
- 5班：魅力的なお店・子どもの居場所を。大きい書店、家電量販店、子どもが入れるカフェ、学習お助けコーナーなど
- 6班：大好きな庄内町。いつまでも自慢の町であってほしい。
- 7班：みんなが仲良しの町に。美味しいお米と豊かな自然を活かしたイベントを。お年寄りをみんなで助け隊。どの班も大変論理的に整理された内容でした。最後のまとめでは「住みよい町にするには、施設やお店の充実もあるけど、何よりも自分たちが町の良さを理解して、その魅力を多くの人に伝えられる人になりたい」と話してくれ、とても感動しました。

庄内町が優先的に取り組むべきことってなんだろう

余目中学校

3年生137人が参加。町の課題は、人口減少と少子高齢化。改善に向けて各クラスの意見をまとめてくれました。



●各クラスの意見

- 1組：免許返納した人のために専用バスを！
- 2組：ふるさと納税とカートンレイユで大もうけ！
- 3組：屋内型のアトラクション施設で大もうけ！
- 4組：結婚で家を割引！田んぼで遊ぼうなど
- 5組：リアルマリオカート（カートンレイユ）で大もうけ！
中学生はカートンレイユに興味がある様子でした。ほかに出されていた意見を一部紹介すると
・入園祝い絵本贈呈事業を廃止し、高校生の医療費無料化
・町が暗いので外灯の設置
・買い物客を呼び込むために、新たな店が出店できるよう、土地代を補助したり、支援金を支給。財源は、カートンレイユを閉鎖し予算を回す。
・将来、中学校が統合されたら、使わない校舎を利用して商業施設にする。
町長は各班を回りながら、リアルな中学生の声を聞いていました。さすが中学生。あれもこれもと要望するだけでなく、町の財政面も考慮し、限られた財源でいかに効率よく運営すべきかということにも着目していて、事業の見直し案も出ていました。真剣に町のことを考えてくれていることがひしひしと伝わってきました。



「町の課題や未来について、子どもたちとざっくばらんに意見交換したい。」
そんな想いから始まったこの事業も今年で2年目となりました。今年度は、7月12日に余目第一小学校、11月27日に余目中学校へお邪魔しました。

伝わる町への愛

余目第一小学校では「みんなが住みたくなる庄内町」をテーマに、庄内町の魅力と課題について話し合い、どうしたらみんなが住みたい町になるのか、7つのグループに分かれてプレゼンしてくれました。

余目中学校では、町が掲げる5つの重点構想の中で、持続可能で住みよいまちにするためには何を優先して取り組むべきかを考え、自分たちなりの意見を発表してくれました。
両校の地元愛があふれる素晴らしい意見の詳細はP3をご覧ください。

いただいた意見の反映

今まで本事業でいただいた意見は、集約して町の全課で共有しています。大きな予算が伴うものや全ての意見に着手することは難しいですが、子どもたちの意見を参考に実践した事業もあり、今後も反映できるものは施策に反映させていきます。
たくさんの方の素晴らしい意見がありありがとうございました。これからも一緒に庄内町の未来を考えていきましょう。

実践した事業をご紹介します！

いただいた意見を参考に事業を実施しました！



＼ごはんフェス／
余目一小提案：ごはんフェスではお米の重さクイズを実施しました。



＼フォトコンテスト／
立川中提案：公式Instagramでフォトコンテストを実施しました。



＼クラスでイベント開催／
余目三小提案：余目駅前が賑わうようクラスでイベントを実施しています。